

村橋正哉 1), 藤本 純 1), 金山健夫 1), 古賀秀俊 1)

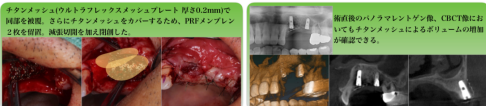
松井志重 1), 中本花奈 1), 朝波惣一郎 2)

医療法人 天空会 1), 医療法人財団順和会山王病院歯科口腔外科 2)

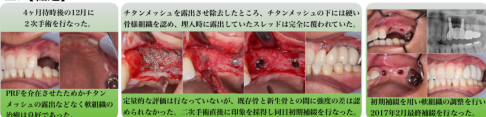
I. 【目的】

長期安定したインプラント補綴を行うためには良質で十分な骨が必要となるが、歯槽骨喪失により骨幅や骨高径が十分でない症例ではGBRを行い必要な歯槽骨量を増生する手法が選択されることが多い。現在様々な補綴材料が用いられているが、どのような材料をどのような症例に用いるかのコンセンサスは得られていない。今回我々は、多孔質ハイドロキシアパタイトコーラゲンであるリフィット®（以下：リフィット）とチタンメッシュを用いて良質な骨の増生が認められた症例を経験したので報告する。

II. 【症例の概要】



III. 【経過】



IV. 【考察および結論】

